



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

酉から戌へ

歯科麻酔科 科長 飯島 毅彦

今年は、秋から冬への移行が速かったように思います。急速に寒くなると立木も驚いて一斉に葉の色を変えます。ここ数年は、外苑の銀杏も12月になっても緑が残っていましたが、今年は文化の日にはもう色づいていて、二、三十年前を思い出しました。東京でも今年の紅葉の赤は例年になく鮮やかなような気がします。間もなく、お正月です。

歯科病院は今年も多くの患者さんに来院していただきました。歯科でも専門分野ごとに専門家がおりますが、歯科病院でなければできない設備を必要とする処置や手術が行われています。

国の健康増進政策では、歯科は地域において一般の診療所と専門病院が連携して患者さんの診療に当たることを推進しています。高齢化が進む中、より効率的で質の高い医療を提供するためにはそれぞれの利便性、専門性を生かした医療を地域として組織づくりをしていくことが求められています。

昭和大学歯科病院には、最新の麻酔器を備えた手術室、病棟、高度の画像診断装置、歯科補綴物の最先端の製作装置などの設備の他、検査、薬剤の専門家、高度の手技を身に付けた歯科技工士、口腔保健業務を専門とする歯科衛生士、看護師、言語聴覚士など数多くの専門職種が日常勤務しています。これらの専門性を生かして歯科病院は一般診療所から紹介、そして一般診療所への逆紹介を推進して、地域中核歯科病院としての役割を果たすように努力しています。その一環として12月2日土曜日より診療時間を

平日と同じく一日とすることにしました。土曜日の午後の診療を希望される地域の方々のご要望にお応えしたいと考えています。診療時間を幅広くとることで利便性の向上をはかります。現在土曜日の体制は診療科により異なりますので詳しくは担当しております診療科にお尋ねください。



この歯科病院だよりが発行されるのは丁度年をまたぐ時期になりますね。酉年の酉、戌年の戌はそれぞれ鶏や犬に相当しますが、これらは干支(えと)を表す漢字です。これは年、月、日、方角をあらわす序数(順序をあらわす数詞)を十二の動物(十二支獣)で表現したものです。

例えば、「草木も眠る丑三つ時」という真夜中の表現がありますが、これは午前2時から2時半ごろを指しています。子(0時)から始まる時間を十二支獣で表しているのですね。忘年会、新年会のシーズンですが、「あなた、子の刻までには帰ってきてね。」というのは効果があるでしょうか？干支はこのように数字をあらわし、動物自身にはあまり意味はないようですが、あとからいかようにも意味はつけられるようです。犬はたくさん子供を産むことから安産のお守りでもあります。さあ、酉年から戌年にバトンタッチです。皆様にとって2018年は良い年になりますようお祈りいたします。



歯科麻酔科 紹介

歯科麻酔科 助教(診療科長補佐) 西村 晶子

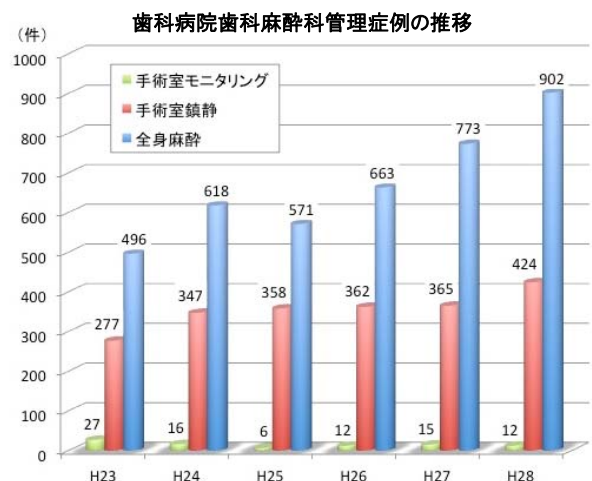
「歯科の麻酔って何だろう?」「お口の中に痛み止めの注射を打つ仕事ですか?」歯科麻酔科というと、このような質問をよく受けます。私たち歯科麻酔科は、全身麻酔や鎮静を行うことで抜歯やインプラント治療などの口腔外科手術をはじめとした歯科治療が安全で快適に行われるようにお手伝いしています。また、歯科治療が怖い方、器具がお口に入ることが耐えられない方、さまざまな全身疾患をもつため地域の歯科医院では治療を断られてしまった方にとって、より良い治療や麻酔方法を考える診療科でもあります。

全身麻酔は大掛かりで怖いものというイメージはありませんか? 歯の治療に全身麻酔なんて大げさだと思いませんか? しかし同じ姿勢で口を開け続けるのはつらいものです。全身麻酔下で行えば、たとえ痛みを伴う処置が長時間続いても眠っている間に終わってしまいます。現在の全身麻酔は安全であるだけでなく、より快適なものになりました。点滴からお薬が入ると数秒で眠り、手術が終われば10分ほどで目を覚ますことができます。その後は1時間程度ゆっくりベッドで休めば、後は自由に過ごすことができます。このように安全で快適な全身麻酔を提供するため、当科には日本歯科麻酔学会の専門医6名、認定医18名を含む33名が常勤医として在籍し日々の診療を担当しています。

昭和大学歯科病院では年間2,000件を超える麻酔管理症例があります。特に全身麻酔症例は年間1,000件近くあり、歯科単独の施設としては全国トップクラスです。手術室では全身麻酔下での顎変形症手術、抜歯・嚢胞摘出術、小児・障がい者に対する歯科治療や、静脈麻酔下でのインプラント埋入術が行われています。外来では歯科治療恐怖症や異常絞扼反射(嘔吐反射)の患者さんの鎮静を行っています。また、昭和大学病院をはじめとする医学部附属病院にも歯科麻酔科医

が出向して麻酔管理を担当しています。昭和大学病院では頭頸部腫瘍センターの口腔腫瘍手術症例の麻酔管理、昭和大学江東豊洲病院では歯科口腔外科の全身麻酔・鎮静管理、昭和大学藤が丘病院では睡眠時無呼吸外来の運営と口唇口蓋裂センターの全身麻酔管理、昭和大学横浜市北部病院では全身麻酔前後の口腔ケアによる人工呼吸関連肺炎の予防など、各附属病院において歯科麻酔科の特殊性を活かした様々な診療業務が行われており、昨年の管理症例数は700件にのぼりました。

私たち昭和大学歯科病院歯科麻酔科は、麻酔管理・全身管理を専門にしながら、一人でも多くの患者さんが安心して歯科治療を受けられるようにお手伝いしています。全身麻酔・鎮静での歯科治療を希望される方をはじめ、歯科治療に不安を抱えている方、全身的な疾患を理由に地域での歯科診療が困難な方は診療担当医を通して歯科麻酔科までご連絡ください。



歯科麻酔科医局員

歯科医師紹介: 卓越した基本

矯正歯科/スポーツ歯科外来/スポーツ運動科学研究所兼任 助教 芳賀 秀郷



スポーツ歯科外来を通じてアスリートと関わる機会が多くあります。彼らは1秒・1ミリに拘りその重要性を強く強く認識しています。トップアスリートと呼ばれるほんの一握りの集団特性を観察した時往々に

して感じる事があります。それは、誰にもできないような奇抜な技術を持ち合わせた人間というよりは、皆も当たり前のようにこなしている行為のレベルがとても高いということです。これはおそらくどの分野にも共通する大切な意識であり、もちろん歯科医療においても同様であると考えております。

私の専門とする歯科矯正学分野においては、初診相談・精密検査・分析・診断を経て治療方針の立案に到達します。これは基本技術の繰り返しになりますが、1つ1つの情報の整理や分析、現状に至った過程の推理が正確な不正咬合の病態理解および原因解明へと繋がります。だから「矯正学はおもしろい」と日々感じております。

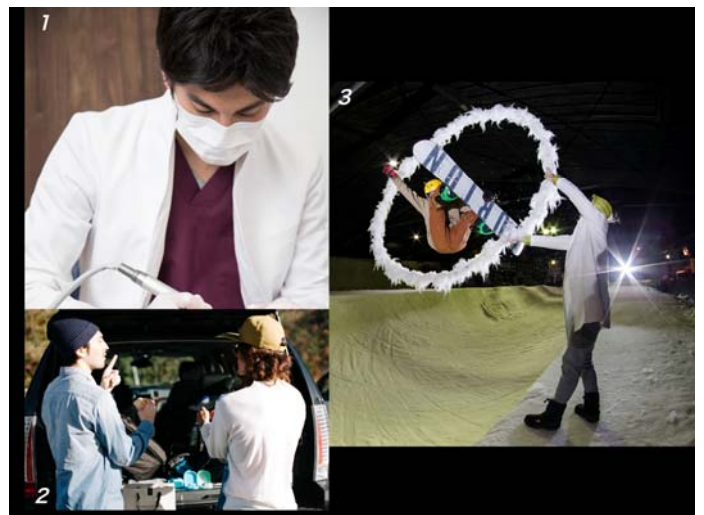
歯科矯正を専攻するきっかけとなったのは歯学部4年次に受けた講義でした。「生体内の器官を外力で動かし機能改善をはかるという手段は、他の領域では類をみないもの」という言葉を聞き、この当たり前のように凄い現象を目の当たりにした時から惹かれはじめました。



矯正歯科 集合写真(山口徹太郎准教授は海外留学中)

かかる伝統は継承され今日に至りますが、現在の大学歯科病院としての使命は「卓越した基本」の研鑽と先端技術を駆使し一步先行く革新的なものを生み出すことと理解しております。今後これらのテーマに向かい現状のベストをぬりかえていけるよう挑戦を続けていきたいと思っております。

オリンピックをはじめとする主要国際大会に日本代表選手が参加する場合、派遣前メディカルチェックとして内科・整形外科および歯科の3科受診が義務付けられております。それだけ、良好な口腔内環境が重要視されている証でもあるのです。当院では、代表候補選手から健康のため運動を行っている方まで多くのアスリートが受診しております。アスリートに特化したデンタルチェックやスポーツマウスガードの製作を通じ、私は矯正歯科の観点から歯並び・噛み合わせを重視し現場サイドに立った診療を心がけております。アスリートの矯正治療はもちろんの事、乳歯と永久歯の生え変わり中のお子さんや矯正治療中のスポーツマウスガード製作も可能ですので、どうぞお気軽にご相談下さい。



1:スポーツデンタルチェックを行い口腔内の状況を選手にフィードバック
2・3:現場に帯同しコンディションやスポーツマウスガードの確認

災害対策訓練を実施しました

平成29年11月24日(金)午後4時00分、大規模地震が発生したという想定のもと、災害対策訓練が行われました。当日は、歯科病院災害対策マニュアルに沿って、災害対策本部設置、被害状況報告(第1・2報)の報告訓練、患者搬送、初期消火に重要な消火器、および屋内消火栓の使用方の説明会を実施しました。

参加人数は、歯科医師、歯科衛生士、看護師、事務など総勢約60名。当院は、今回の訓練で明らかになった課題を改善するとともに、災害発生時に教職員が混乱することなく組織だて最適な行動がとれるよう、日ごろから意識して行動できるよう対策を強化してまいります。

来年1月には、夜間を想定した火災訓練を実施する予定です。ご来院の皆さまにはご迷惑をおか

けいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務課管理係



災害対策本部設置の様子



消火器・屋内消火栓の使用説明の様子

外来診療時間変更のお知らせ

昭和大学歯科病院からのお知らせ

- 平成29年12月より、土曜日の外来診療時間が変更となりました。

診療時間 8:30~17:00 (月曜日~土曜日)

- 平成30年1月より、初診受付の受付時間が変更となります。

初診受付 8:30~11:30、13:00~15:00 (月曜日~土曜日)

※診療科により時間が異なります、詳細はお問い合わせください。

昭和大学歯科病院 地域歯科医療連携室 電話 03-5498-1954(直通)

編集後記

2017年も残すところあと僅かとなりました。寒さもひとしを身にしみるところ、皆様いかがお過ごしでしょうか。この時期はインフルエンザやノロウイルスが流行し、手術が延期になる患者さんもいます。手術室では安全のために感染対策により一層力が入ります。日常での手洗いうがいも忘れずに。

時節柄、ご多忙のことと存じます。くれぐれも体調などお崩しになられぬようお気を付けください。また、ご寄稿と編集にご協力くださいました皆様に感謝し、歳末のご挨拶とさせていただきます。それでは良いお年をお過ごしください。(R.S)



横浜にて

撮影:高橋